



ザフィマニリの村を望む

日本の文化展示「祭り」と芸能」「日々  
のくらし」が新しくオープン  
本館展示場「日本の文化」展示の一部  
が3月22日（金）に新しく生まれ変わ  
ります。お楽しみに！

◆ワークシヨップ

「ザフィマニリの家壁文様を彫ろう」

ザフィマニリの木造家屋の家壁には無数の平  
行線が彫られています。展示場に用意した木  
材に文様を彫ります。会期中に大きな  
家壁をつくりあげよう。

※毎日開催、当日受付、参加無料

「ザフィマニリの文様を編もう」

ザフィマニリでつくられるカゴや帽子、敷物  
には、いろいろな文様が編まれています。とて  
も難しそうだけど、実は簡単な作業の繰り返し。  
返し。きれいな文様を編むことができるかな？

※毎日開催、当日受付、参加無料

「ザフィマニリの敷物を編もう」

みんながザフィマニリの敷物をつくる。マ  
ダガスカルから持ち帰った草をたたいて平ら  
にして、敷物を編むことができるよ。作業の  
間には、みんなの研究者によるザフィマニ  
リに関するおはなしの時間もあります。

3月17日（日）、4月1日（月）、15日（月）、  
5月3日（金・祝）、20日（月）、31日（金）、  
6月11日（火）

時間 14時～16時30分

（おはなしの時間15時～15時30分）

※当日受付、参加無料

◆ミニレクチャー

「ザフィマニリの村を訪れて展示をつくったみ  
んぱく研究者が、ザフィマニリのくらしや手  
しごとについてお話しします。」

※毎週月曜日開催（予定）、自由参加  
参加無料

◆みんなくセミナー

左のページをご覧ください。

◆みんなくウィークエンド・サロン

詳細は本誌24ページをご覧ください。

日時 3月22日（金） 18時30分～20時45分  
（17時30分開場）

会場 オールホール（大阪市北区梅田  
毎日新聞社ビル地下1階）

定員 480名

※手話通訳あり

※要申込、参加無料

お問い合わせ先  
研究協力課 研究協力係  
電話 06・6878・8209

国際シンポジウム

「博物館は悲惨な記憶をどう展示するか」

日時 3月24日（日） 9時30分～18時

会場 第4セミナー室

※申込不要、参加無料、同時通訳あり

◆みんなく映画会

「人生、ここにあり！」

日時 3月23日（土） 13時30分～16時30分  
（開場13時）

会場 講堂（先着450名）

※申込不要、参加無料

お問い合わせ先  
広報企画室企画連携係  
電話 06・6878・8210

国際シンポジウム

Exhibiting Cultures: Comparative  
Perspectives from Japan and Europe

（文化を展示すること  
—日本とヨーロッパの遠近法を考える—）

日時 3月17日（日） 10時～17時

会場 第4セミナー室

※要申込、参加無料、同時通訳あり

◆みんなく公開講演会

「なんだ？日本の文化って  
——芸能からMANGAまで」

今回の講演会では、沖縄と日本本土の民俗文  
化が複雑に交わる奄美の芸能・音楽と、香港  
と台湾における日本の大衆文化（漫画など）  
の受容を題材にして、日本文化の境界やタイ  
ナリズムを問い直す講演をおこないます。

◆無料観覧日のお知らせ

3月10日（日）は万博公園ふれあいの日のた  
め本館展示および特別展を無料で観覧いた  
だけます。

※イベントや刊行物について、くわしくはホーム  
ページをご覧ください。

※電話でのお問い合わせの受付時間は9時から  
17時（土日祝を除く）です。

みんなくセミナー

会場 国立民族学博物館 講堂

時間 13時30分～15時（13時開場）

定員 450名（当日先着順）

参加費 無料（展示をご覧になる方は、観覧料が必要です）

第418回 3月16日（土）

「春のみんなくフォーラム2013」関連

家族の今——イタリアの事例から考える

講師 宇田川妙子（国立民族学博物館 准教授）



祖母の兄に教えられながらブドウ  
収穫を手伝う子供

現在、先進国ではどこ  
でも少子化と高齢化の  
問題が深刻化し、様々  
なレベルで家族関係を  
考え直すとする機運  
が高まっています。な  
かでも日本の状況とよ  
く似ているイタリアの  
家族事情を紹介しなが  
ら、家族のこれからを  
考えます。

第419回 4月20日（土）

【特別展関連】

マダガスカル 霧の森のものづく

講師 飯田卓（国立民族学博物館 准教授）



ザフィマニリの木彫り職人。その技  
術はユネスコ無形文化遺産に登録  
されている。

身近な森から伐りだした木の家、その窓にほどこす  
幾何学的な木彫り、植物繊維から編みだされるさま  
ざまな意匠。マダガス  
カル山間部のくらしに  
息づいてきたものづく  
りは、こんにち国際的  
な評価を受けるようにな  
りました。次世代に  
受け継ぐべきものは何  
か、われわれができる  
支援は何かを考えます。

友の会

友の会講演会（大阪）

会場 国立民族学博物館 第5セミナー室

定員 96名（当日先着順、会員登録必須）

第418回 4月6日（土） 14時～15時

特別展「マダガスカル 霧の森のくらし」関連

マダガスカル中央高地のザフィマニリ文化

講師：飯田卓（国立民族学博物館 准教授）

アフリカ地域にありながら、東南アジアからの文化的影  
響も受けてきたマダガスカル島。そう聞くとエキゾチック  
なイメージですが、どこかしら日本の山村を思わせるよう  
な一面もあります。霧の森にくらすザフィマニリの人び  
とを紹介します。

第419回 5月4日（土） 14時～15時

マケドニアの陶器と食文化

講師 ゴルダン・ニコロフ（民博外国人研究員）

マケドニアの伝統的な陶器作りについて映像を用いて紹  
介します。とくに結婚式と墓参りで用いられる二つの儀  
礼用の酒壺については実物もお見せしながら解説します  
（通訳あり）。

※講演会終了後にはゴルダンさんお手製のマケドニア料  
理を味わいます。

東京講演会

会場 JICA市ヶ谷ビル セミナールーム600

定員 80名（要申込）

第105回 3月30日（土） 14時～16時

特別展「マダガスカル 霧の森のくらし」関連

何処にでもある何処にもない世界 マダガスカル

講師 深澤秀夫（東京外国語大学 教授）

マダガスカルはインド洋を行き交ったアジア、アフリカ  
アラブ、ヨーロッパの人びとの千年余りの「記憶」が随  
所に刻まれています。言葉や生活文化を丁寧によみとく  
ことで、文献には記されていないその歴史にせまります。

国立民族学博物館  
ミュージアム・  
シヨップ

電話 06-6876-3112  
FAX 06-6876-0875  
e-mail shop@senri-f.or.jp  
水曜日定休

ウェブサイトもご覧ください。  
オンラインシヨップ  
「World Wide Bazaar」  
http://www.senri-f.or.jp/shop/

メイド・イン・マダガスカルの商品

特別展「マダガスカル 霧の森のくらし」にあわせて、  
現地から取り寄せた商品をご紹介します。

まずはチョコレート。原料の生産やカカオバターの製造、  
生産までが国内でおこなわれています。このこだわりは、  
70年の歴史をもつ老舗チョコレート屋さんによるもの。  
マダガスカルカカオの深い味わいをご賞味ください。

次は、カメレオンやバオバブなど、現地の人びととお手製  
の動植物の人形です。これらはラフィア椰子の葉を加工  
したもので、とてもカラフルに彩色され、愛嬌がありま  
す。ラフィアは防水性もあり丈夫で、使い込むうちに艶  
がでてきます。その性質をいかしたバッグやカゴ類もご  
用意しています。

会期中は、特別展示館内にもシヨップがオープンします。  
かわいらしいスタンプや、特別展解説書、オリジナル  
グッズ（来月ご紹介予定）なども取り揃えていますので、  
ぜひ足をお運びください。



ラフィアバオバブ (SS)	630円
ラフィアキリン (SS)	945円
ラフィアカメレオン (小)	1,050円
(大)	1,575円
キャラクタースタンプ	1,260円
チョコレート(5種)	578～630円

価格はすべて税込